

# 核兵器廃絶！

# 千葉県原爆被爆者

# 友愛会

# ニュース

No. 133



千葉県原爆被爆者友愛会  
〒263-0021  
千葉市稲毛区轟町1-4-23  
ラハイナハウスⅡ号棟101号室  
TEL/FAX : 043-253-7768  
発行人 児玉 三智子

ホームページアドレス(URL):  
<http://www5.plala.or.jp/yuaikai/>

フェースブックアドレス(URL):  
<http://www.facebook.com/HibakushaYuaikai>

電子メールアドレス:  
[jimukyokuate@meet.plala.or.jp](mailto:jimukyokuate@meet.plala.or.jp)

皆さまお揃いで新年  
をお迎えのこととお喜  
び申しあげます。  
の昨年からの2年続け  
ての新型コロナウイルス  
の感染でマスク、手  
洗いの密を意図しての  
日常生活が続き、少し  
落ち着いて来たと思っ  
ていました。新たな  
変異株の「オミクロン  
株」が国際社会に感  
拡がっている状況の中  
皆さまには、新年を余  
なくさされた新年をお  
えでしようか。  
ち友愛会では、定期総  
会は会員だけの総会と  
し、慰霊式は他団体  
からのご支援をいただ  
き、ご支援をいただ



千葉県原爆被爆者友愛会  
会長 児玉三智子  
役員一同

## 新春のお慶びを 申しあげます

た実行委員会の皆さ  
んの共同で縮小の内  
にも厳粛で盛大に開  
催する。他の活動に  
いた。は、被爆証言は  
中止、やオンライ証  
言に、相原爆展は、縮  
し、が、難なく、研  
応が、中止など、諸活  
は、中、通し。は、出  
予定通り。は、出  
せんと組織として、は  
友愛会組織として、は  
今迄、役員に被爆者  
談員、役員に被爆者  
支援助力、加わり、  
た。大きな力を頂き、

兵器は国際法により  
禁止となりまし。禁  
止条約に背を向け、  
けています。唯一の  
戦争被爆国として、  
禁止条約に参加し、  
兵器廃絶の先頭にた  
ち、世界をリードす  
ることが求められて  
います。  
府に核兵器禁止条約  
の署名、批准を求め  
る署名に、日本被爆  
でいます。に、日本被  
協に全国から寄せら  
れた第1次集約1月6  
5万7千174人に  
なり、内閣府に、被  
爆者の手から総理大  
臣の手に受け取って  
もらおう。友愛会と  
まら。来年度は署名  
取り組みを進めて、  
上。に力強く進めて  
きまし。う。進めて  
時間。は、多くに、  
せ。ん。友愛会も、  
者。一。途。を、た。ど。る。中。で、  
の。一。途。を、た。ど。る。中。で、  
残。り。を、得。て、支。援。者。の  
協。力。を、得。て、支。援。者。の

導きで、今ある友愛  
会の活動をどう続け  
継承していけばよい  
か、被爆77年をど  
んな年にすればよい  
か、皆さまとともに  
か、皆さまとともに  
知恵を出し合い、歩  
んで行きたいと思っ  
ています。  
会。結。成。5。0。周。年。を。祝  
う。会。に。皆。さ。ま。と。ご  
一。緒。で。き。ま。す。よ。う、

ご健勝とご多幸を  
祈念し、今年もご  
支援助力を切に  
お願いして、年頭  
の挨拶とします。



以上各会会長一同

明けまして  
おめでとーいございます  
今年も皆様方にたくさんのお幸せが来ますよ  
う祈念します。  
コロナ禍の中での新たな年明け、お互いに  
健康には十分に気を付けて過ごしましょう。

- 富里原爆被爆者の会
- 習志野市原爆被爆者の会
- 船橋市原爆被爆者の会
- 鎌ヶ谷市原爆被爆者折鶴会
- 市川被爆者の会
- 浦安被爆者つくしの会
- 流山市原爆被爆者の会
- 館山市原爆被爆者同友会

# 2021年12月・合同会議報告

## 12月9日(木)、千葉市民会館で開催された各会会長・理事・相談員の合同会議の報告

報告事項として「友愛会結成50周年を祝う会」の準備状況の報告と、「日本政府に核兵器禁止条約への署名」を求める署名活動があり、「祝う会」については、「祝う会」に進めることで異議なしでした。「祝う会」のご案内の記事が参照下さい。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」は11月末に第1次集約を行い、全国から60万筆の署名が集まり、岸田総理大臣に直接手渡し出来るように要請中との報告がありました。千葉県では3499筆でした。12月18日に千葉そごう前で統一行動を行うなど、さらなる署名に向けて行動を続けます。

- ① 組織・予算の確保をどうするか。
- ② 慰霊式典の実行委員長について。
- ③ 研修会の開催をどうするか。
- ④ 相談員の量と質の確保をどうするか。
- ⑤ 定期総会に来賓を招待するかどうするか。

その他以下の提案、意見がありました。

- ・被爆者の減少は避けられない、「被爆二世の会員」や「賛助会員」を増やす呼びかけが必要。
- ・会員・会費の減少は仕方が無いので、その予算に見合うコンパクトな活動とすべく、付を願うか？
- ・市原市の相談員の欠員の補充として、市原市はピースフェスタなど実施されており支援者は多い。その中から相談員をお願いできないか？
- ・市原保健所健診の（市原保健所健診の）おり、心当たりのおり、居たのでそれを優先したい。
- ・「被爆二世」に係る内容を含む研修会を開いて欲しい。（他に研修会を望む声がありました）
- ・研修会は開催する事になりました。
- ・各市の会の解散により、会費収入の減少と事務作業などの増加がある。各会の維持が難しくなったときは早めに友愛会に連絡をしてほしい。
- ・新しい相談員が多くなり、問い合わせに充分答えられないとの声があり、基本的な相談内容から勉強会を開くことになった。（第1回勉強会・1月20日）
- ・今の相談員だけでなく参加希望者を募ります。
- ・定期総会に来賓を呼ぶかどうかについては、議長より挙手で賛否を求められませんでした。判断が難しい結果になり、役員会預かりとなりました。
- ・慰霊式典の実行委員長については、「支援団体に実行委員長をお願い出来るか？」との質問がありました。慰霊式典は公費を頂いているため、実行委員長は主催者である友愛会から出す必要があるとのことでした。
- ・議長から自薦・他薦を含めて立候補が

- ・新しい相談員が多くなり、問い合わせに充分答えられないとの声があり、基本的な相談内容から勉強会を開くことになった。（第1回勉強会・1月20日）
- ・今の相談員だけでなく参加希望者を募ります。
- ・定期総会に来賓を呼ぶかどうかについては、議長より挙手で賛否を求められませんでした。判断が難しい結果になり、役員会預かりとなりました。
- ・慰霊式典の実行委員長については、「支援団体に実行委員長をお願い出来るか？」との質問がありました。慰霊式典は公費を頂いているため、実行委員長は主催者である友愛会から出す必要があるとのことでした。
- ・議長から自薦・他薦を含めて立候補が

## 各市被爆者の会・会だより

### 船橋の会「2021年を振り返って」

求められました。役員会に選任を戻された形になりました。

また、被団協からの「活動維持募金」と、新聞「被団協」の購読のお願いを行い、その場で6名の

購読申し込みがありました。

【追記】

☆友愛会より日本被団協に長年功労者表彰の対象として推薦しておりました弓削崇さんが昨年暮れ表彰されました。

報告者・青木幸雄

事務局長 齊藤實

昨年、事務局長 齊藤實は、議長より挙手で賛否を求められませんでした。判断が難しい結果になり、役員会預かりとなりました。

「船橋の会」は、4月の定期総会で5項目の活動計画を報告しました。が、コロナ禍の影響で被爆者健診も中止になるなど、会員の皆様に面談できる機会が少なく、署名活動や相談活動も計画通り出来ていなかったことを反省しております。

昨年掲げた活動方針の重点課題は、被爆者の方の高齢化・会員減少です。

来への問題が問われる中、二世会員、賛助会員の入会に広く声をかけ支援の輪を広げて行くことでした。この活動の中、一昨年9月に逝去された会員故森山三四子氏の被爆二世会員森山哲美様とご連絡の中で、会報への原稿をお願いしたところ、原爆投下と被爆に関連した大変貴重な寄稿を頂きました。被爆二世として祖母と叔父の手記「被爆40年の追想」を読まれてその原爆投下の惨状を知ることができ、二度と悲劇を起こさないため自分は何ができるか大分行動分析学を学び、現在、大学で教授をされています。寄稿文の中で原爆の悲劇を



被爆の語り伝へ研究会からの報告

令和3年11月4日、轟公民館講習室にて語り部研究会が主催され、新たに鎌ヶ谷の荒木さん、千葉市の重田さん、成田の木村さんが加わり、計14名に出席いただきました。日頃、語り部活動を行う中で課題、県内で広く活動していただくために、証言者・朗読者をリスト化し活用していくこと、また、語り部活動における資料の活用方法等について、話し合いました。

資料活用について、本当は話したくない、真実を言わなければ伝わりません、自分の目の前で死んでいった人のために、核廃絶のため、核廃絶の思いを話す参加者もいました。二番目に、証言者・朗読者のリスト化について、話の内容が重要な欄を多めに取ることで、出来れば新年度に合わせ活用できるように準備してほしい、という要望があり、令和4年4月までにリストが完成できるように取り組んでほしい、という要望がありました。証言できる方がい

ひつり部研究会までご連絡ください。活動をする上で、資料活用について、会で所有している紙芝居や台本等の資料、それらが出ていること、成した戦前戦中の冊子が、今後配布したいと思っております。令和3年度はコロナ禍により一度しか会をもちませんでした、4年度は通常二回開催を目指したいと思っております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。上り、活動報告（まだ、活動報告を出されていません。事務局まで報告書をご提出ください）



岡田千砂子

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

昨年も新型コロナウイルスの影響で、通常であれば人を集めていた学習会や集会の開催を見送ることが多々ありました。それでもオンラインでつながり、会議や集会を開催することも広がりました。原水禁大会やビキニデーの集会もオンラインでの開催となりましたが、やはり、一堂に会した中での臨場感を伴う交流と連帯は重要です。早く通常に戻っての開催ができることを願っています。

昨年は総選挙もありました。新自由主義と強権政治からの転換を実現できず、残念な結果となりましたが、市民と野党の共闘で小選挙区候補を一本化し、60近い選挙区で与党の候補に勝利するとともに、30を超える選挙区でも大接戦を展開したことは、今年参議院選挙につながる、確信となることです。そして共闘の具体化の過程で市民連合と野党4党が合意した共通政策の中に、「核兵器禁止条約の批准をめざし、締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する」ことが位置づけられたことも重要です。画期的な核兵器禁止条約の発効をふまえ、世論と運動を強める必要があります。

一方、改憲勢力が3分の2を確保した下で、岸田首相は「党是である憲法改正を積極的に進めたい」と、改憲への強い意欲を示しています。同時並行で「敵基地攻撃能力の保有」の検討をはじめ、自衛隊を海外派兵型の軍隊につくり変える動き、軍事費をGDP比で2%にしていくという大軍拡の動きも進んでいます。

さらに、バイデン政権が2022年に策定する新しい核兵器方針「核態勢の見直し」に先制不使用宣言が盛り込まれるかどうか焦点の一つになっている下で、松野官房長官は核保有国による核兵器の先制不使用宣言を否定する態度をとっています。記者会見では、全ての核保有国が「同時に行わなければ有意義ではない」と一国の先制不使用宣言を否定しました。核兵器使用の可能性を少しでも軽減させる措置に異を唱えることは、唯一の戦争被爆国の政府としてあるまじき態度です。

こうした下、新たに提起された「憲法改悪を許さない全国署名」、そして「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の取り組みに最大限の力を入れるとともに、今年参議院選挙で改憲勢力を過半数割れに追い込み、次の総選挙では今度こそ政権交代を実現できるような状況をつくり出すために、千葉労連としても奮闘したいと思います。

千葉県労働組合連合会 議長 本原康雄





# 政府への批准要請署名活動報告

## 日本政府に核兵器禁止条約の署名批准を求め署名

「核兵器禁止条約」は、皆様の署名の力が大きく作用し、世界各国の市民社会に「核兵器廃絶」への思いが正面から受け止められ、その声が高まり、昨年一月に発効されました。しかし、「核兵器の非人間性をどの国よりもよく知っているはずの唯一の被爆国」である我が国は、批准も署名もしていません。

2016年から取り組んできた千葉県「ヒバクシャ国際署名」推進連絡会を継承し、「日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める千葉の会」として、取り組んでいます。この活動展開の一期目として、我々千葉県原爆被爆者友愛会へ、11月末までに、寄せられた署名は、個人の方より333筆、賛助

会の方から134筆、各団体より3032筆、合計3499筆になります。

① 今後実際の活動は、賛同団体を広げる取り組み 学習会や集いを通して賛同団体や個人に広げてゆきます。

② 署名・宣伝活動 主要駅で定期的な統一行動に取り組み。自治体の首長や議員にも働きかけます。

③ 日本政府への働きかけを行う。具体的には、千葉県選出の国会議員を通じて要請を行います。

④ 千葉県議会に意見書採択の請願をします。

本会の略称は「求め千葉の会」と呼ぶことになりました。まだ始まったばかりの署名活動です。友人知人へのお声掛け等で一人でも多く署名をお願いいたします。それが我々の念願である「核兵器のない世界」に到達できる唯一の方法であると思えます。署名は、お一人お一人が自筆署

名することが原則です。コピーやフアクシミリ、住所やご氏名に「同上」や「リ」は認められておりません。自筆署名でお気持ちは反映されます。

新型コロナが蔓延しております。どうぞそ、ご自愛下さい。コロナ撲滅と、核撲滅を達成しましょう。

署名担当 平山晃

### 令和3年度

#### 指定医療機関 被爆者健診日程

◆まくはり診療所健康管理中心  
(電話)043-276-1851  
2022年2月6日(日)  
一般健診と二世健診

#### ◆二和ふれあいクリニック

(電話)047-448-7118  
船橋市二和東 5-1-1  
一般健診と二世健診

#### 一般健診と二世健診

1月14日(土) 8時45分～11時

\*1月14日までにお申し込みください

### 令和3年度

#### 保健所 被爆者健診日程

市川保健所と松戸保健所は被爆者健診をコロナ禍のため実施することができません。受診希望者は県指定の医療機関で受診してください。

### 「被団協」新聞 (毎月6日発行)

定期購読を希望される方は、葉書又は封書で「お名前(又は団体名)・住所・電話番号・被団協」新聞を〇年〇月〇日から購読します」と明記し、日本被団協までお送りください。

FAX、メールでも受付けています。

#### 購読料は年間1,500円(送料共)

日本原水爆被害者団体協議会  
〒105-0015 東京都港区芝大門1-3-5  
電話)03-3438-1897  
FAX)03-3431-2113

## ありがとうございました

寄付金をご恵贈戴きありがとうございました。友愛会は多くの皆様に支えられていることに感謝申し上げます。

(令和3年12月12日現在)

- ◆20,000円 上野博之 ◆10,000円 山口誠雄 ◆9,000円 吉沢ます江 ◆3,850円 里見香世子 ◆3,000円 河本京子、岩本美津子 ◆1,000円 河本眞理、夏目侑子

なお「友愛会50周年を祝う会」へ 100,000円 上川渥 (敬称略)

### 編集後記

★かれこれ2年の長期間コロナ禍で多くの行事が無くなり、あるいは簡素化されたの実施となりました。そのおかげでこの友愛会ニュースの記事も短くなり、6頁程度に軽くなってきました。淋しい気がします。

★しかしこの新年号では一筆啓上では中学生の投稿、そして友愛会が日ごろ大変お世話になっていきます千葉県労働組合連合会の議長・本原康雄様には皆さまへの新年のご挨拶を頂きました。お陰様でいつもと少々変わった感じのニュースにすることができました。

★コロナ禍に関連する新しい言葉、単語、文字が出てきましたが、一日も早く「そんな大変な事があったなあ」と「思い出話」になるようになればいいですね。今年も宜しくお願いします。

IN



友愛会  
関連  
URL

次回の友愛会ニュースは 4月1日付で発行します